



Copyright © 2008 Raritan, Inc. CC-0P-v4.1-J 2008 年 12 月 255-80-3100-00 このドキュメントには著作権によって保護されている所有者情報が含まれています。無断で転載することは、禁じられ ており、このドキュメントのどの部分も Raritan, Inc. (Raritan 社) より事前に書面による承諾を得ることなく複写、 複製、他の言語へ翻訳することはできません。

© Copyright 2008 Raritan, Inc.、CommandCenter®、Dominion®、Paragon®、Raritan 社のロゴは、 Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは、禁じられています。Java® は Sun Microsystems, Inc. の登録商標、Internet Explorer® は Microsoft Corporation の登録商標です。また、 Netscape® および Netscape Navigator® は Netscape Communication Corporation の登録商標です。そ の他すべての商標または登録商標は、その所有会社に帰属します。

FCC Information

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a commercial installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential environment may cause harmful interference.

VCCI Information (Japan)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準 に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波 妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ず るよう要求されることがあります。

事故、自然災害、本来の用途とは異なる使用、不正使用、Raritan 社以外による製品の変更、その他 Raritan 社が関与しない範囲での使用や、通常の運用条件以外での使用による製品の故障については、Raritan 社は一 切責任を負いかねます。



目次

はじめに	1
必要条件 用語/略語	1 1
CC-SG へのアクセス	2
アクセスの前に	2
サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインストール	2
ポップアップ ブロックの無効化	2

3
4
5
5
6
6
6
8
8

ノードの検索と表示

Access Client でのノードの検索と表示	9
CC-SG Access Client 画面の概要	9
ノード リスト	10
ノードの検索	12
Admin Client でのノードの検索と表示	12
CC-SG Admin Client 画面の概要	13
ノード アイコン	14
ノード表示	14
ノードの検索	15
インタフェースをブックマークに設定	
カスタム表示	19
カスタム表示の種類	19
Access Client でのカスタム表示の使用	20
カスタム表示の追加	20
カスタム表示の適用	21
カスタム表示の変更	21
カスタム表示名の変更	21



iv

目次

カスタム表示の削除	
デフォルトのカスタム表示の指定	
デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定	22
Admin Client でのカスタム表示の使用	22
ノードのカスタム表示の追加	22
ノードのカスタム表示の適用	23
ノードのカスタム表示の変更	23
ノードのカスタム表示の削除	24
ノードのデフォルトのカスタム表示の指定	25
ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定	25

ノードへの接続

Access Client を使用したノードへの接続
[ノード プロファイル] 画面の概要: Access Client
Admin Client を使用したノードへの接続
[ノード プロファイル] 画面の概要: Admin Client
ノードにアクセスするためのアプリケーション
インタフェースについて
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続
アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続
初めてのシリアル インタフェースへのアクセス37
iLO プロセッサが有効なノードへの接続
インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続
Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続
VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続する
VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する
ノードからの切断

パワー制御

パワー制御インタフェースとは	
複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント	
パワー ステータス メッセージ	
Access Client を使用したノードのパワー制御	
シングル ノード パワー制御	
ノード グループ パワー制御	
Admin Client を使用したノードのパワー制御	
単一のインタフェースからのパワー制御	
シングル ノード パワー制御	
ノード グループ パワー制御	



26

ノード チャット

Access Client を使用したノード チャット	50
Admin Client を使用したノード チャット	50

プロファイル

Access Client のプロファイル	
パスワードの変更	
電子メール アドレスの変更	
デフォルトのノード リストの設定	
Admin Client のプロファイル	
パスワードの変更	
電子メール アドレスの変更	
CC-SG フォント サイズの変更	
検索設定の設定	
have a marked a marked	

ショートカット キー

索引



50

52

1 はじめに

このガイドの対象読者は、"ノード イン バンド アクセス" 権限、"ノード アウト オブ バンド アクセス" 権限、および "ノード パワー制御" 権限を付与されているユーザ です。これらの権限を付与されているユーザは、ノードへの接続、ノードへのパワー制 御、カスタム表示の作成、ノードの検索が可能になり、また、ノード チャットを使用し て同じノードに接続している他のユーザと会話することもできます。

この章の内容

必要条件	1
用語/略語	1

必要条件

ノードに接続する前に、ノードを設定する必要があります。ノードに接続するために使用するアプリケーションも設定する必要があります。ノードとアプリケーションの詳細については、Raritan の『CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド』を参照してください。

用語/略語

- iLO/RILOE CC-SG で管理可能な Hewlett Packard 社の Integrated Lights Out/Remote Insight Lights Out サーバです。iLO/RILOE デバイス のターゲットの電源は、直接オン、オフ、リセットされます。
- インバンド アクセス TCP/IP ネットワーク経由で、ネットワークのノードを修正 またはトラブルシューティングします。KVM およびシリアル デバイスに接続された ノードには、インバンド アプリケーションである RemoteDesktop Viewer、SSH Client、VNC Viewer を使ってアクセスできます。
- IPMI サーバ (Intelligent Platform Management Interface) CC-SG で制御できるサーバです。
- アウト オブ バンド アクセス Raritan Remote Client (RRC)、Raritan Console (RC)、Multi-Platform Client (MPC)、仮想 KVM クライアントなど のアプリケーションを使って、ネットワーク上にある KVM やシリアル デバイスに接 続されたノードを修正またはトラブルシューティングします。
- ポート Raritan デバイスとノード間の接続ポイントてす。ポートは Raritan デバイスにのみ存在し、デバイスからノードへの経路を特定します。
- ノード サーバ、デスクトップ PC、または他のネットワーク機器など、CC-SG ユーザがアクセスできるターゲット システムです。



CC-SG へのアクセス

CC-SG には、次の 2 つの方法でアクセスできます。

 ブラウザを介して: CC-SG では、Java ベースの CC-SG Admin Client と HTML ベースの CC-SG Access Client の 2 種類のブラウザベースのアクセ ス オプションが提供されています。

ブラウザおよびプラットフォームの詳細については、Raritan の Web サイトの 「Support」セクションの下の「Firmware and Documentation」セクションにあ る CC-SG の互換表を参照してください。

 シック クライアントを介して: ご使用のクライアント コンピュータに Java Web Start シック クライアントをインストールできます。シック クライアントはブラウザベ ースの CC-SG Admin Client と同様に機能します。

注:どのクライアントを使用する場合も、複数のユーザが同時に接続できます。

この章の内容

アクセスの削に	2
CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス	3
CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス	5
シック クライアント アクセス	6
Access Client クライアントからログアウトする	8

アクセスの前に

2

CC-SG には、ユーザの PC から Web ブラウザを通じてアクセスできます。サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンがインストールされ、 ポップアップ ブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインストール

Web ブラウザと CC-SG Admin Client を使用して CC-SG にアクセスするには、 事前に適切なバージョンの JRE をインストールしておく必要があります。社内の管理 者が推奨している JRE バージョンが、CC-SG が指定している最低条件の JRE バージョンと異なる場合があります。管理者に問い合わせ、必要な JRE バージョン を確認してください。

- Windows OS で JRE バージョンを確認するには
- 1. [コントロール パネル] を開きます。



- [プログラムの追加と削除] をクリックします。現在インストールされているプログラムの一覧で、J2SE または Java 2 Runtime Environment のバージョン番号を確認します。
- ▶ JRE バージョンがご使用の CC-SG リリースと互換性があることを確認するには

[管理] > [互換表] を選択します。アプリケーション一覧で Sun JRE を探します。

▶ JRE をアップグレードするには

http://java.sun.com/products/archive 『http://java.sun.com/products/archive』にアクセスします。

ポップアップ ブロックの無効化

クライアント PC とブラウザでは、すべてのポップアップ ブロックを無効にしておく必要 があります。

- ▶ Windows XP でポップアップ ブロックを無効にするには
- 1. [コントロール パネル]を開きます。
- 2. [インターネット オプション] をクリックします。
- 3. [プライバシー] タブをクリックします。
- 4. [ポップアップをブロックする] チェック ボックスをオフにします。
- 5. [適用]、[OK] の順にクリックします。

CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス

CC-SG Access Client は、ユーザの許可に応じてアクセス タスクの GUI を提供 する、HTML ベースのクライアントです。

- サポートされているブラウザを使用して、CC-SG の URL、https://IP アドレス (たとえば https://10.0.3.30 『https://10.0.3.30』)を入力します。ログイン 画面が表示されます。
- CC-SG 管理者が制限付きサービス同意書を有効にしている場合は、同意書 のテキストを読み、[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します]のチェッ クボックスをオンにします。
- 3. [ユーザ名] と [パスワード] に値を入力し、[ログイン] をクリックします。
- ログインが成功すると、CC-SG Access Client のホーム画面が表示されます。



表示される可能性があるエラー メッセージ

アクセスできるノードが多数ある場合、CC-SG のロード中に以下のエラー メッセージが表示される場合があります。

Internet Explorer の場合

「このページのスクリプトが、Internet Explorer の実行速度を遅くしています。スク リプトを実行し続けると、コンピュータが反応しなくなる可能性があります。このスクリプ トを中断しますか?」

FireFox 1.5 または 2.0 の場合

「A script on this page may be busy, or it may have stopped responding. (このページのスクリプトは処理中または応答しなくなっていま す。)You can stop the script now, or you can continue to see if the script will complete. (今すぐスクリプトを停止するか、処理が完了するまで待つ か選択してください。)」

これらの警告メッセージは、スクリプトの実行が想定されたデフォルトの時間より長くかかる場合に表示されます。

- ▶ これらのエラーを解決するには
- メッセージが表示されたら、スクリプトの実行を続行するオプションを選択します。
 - 警告メッセージが繰り返し表示されるかどうかは、固有のクライアントやサーバの 速度、およびロードするデータの量によって異なります。
- ▶ Internet Explorer でスクリプトを実行できるデフォルトの時間を変更するには

手順については、Microsoft サポート技術情報 (KB) の記事 175500 を参照してください。

▶ Firefox でスクリプトを実行できるデフォルトの時間を変更するには

この設定の詳細については、dom.max_script_run_time に関する MozillaZine Knowledge Base の記事 (http://kb.mozillazine.org/Dom.max_script_run_time

- http://kb.mozillazine.org/Dom.max_script_run_time) を参照してください。
- 1. Firefox で非表示の設定ページにアクセスします。
 - a. Firefox のアドレス バーに「about:config」と入力します。
 - b. 非表示の設定の一覧が表示されます。
- [Filter (フィルタ)] フィールドに「dom.max_script_run_time」と入力しま す。一覧が更新され、項目が1つだけ表示されます。



- 3. dom.max_script_run_time を右クリックして、[Modify (変更)] をクリックします。
- 4. [Enter Integer value (整数値を入力してください。)] ダイアログ ボックスが表示されたら、100 などの大きな値を入力します。デフォルト値は 10 です。

同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットへのアクセス

隣接システム機能のドロップダウン リストをサポートしているのは、Access Client だけです。隣接システム機能は、複数の CC-SG ユニットをグループ化するので、シングル サイン オンでこれらの CC-SG ユニットを切り替えることができます。

CC-SG 管理者が CC-SG Admin Client で隣接システム機能を設定していれ ば、アクセスしている CC-SG が隣接システムの有効なメンバである場合に、 Access Client の上部に Secure Gateway ドロップダウン リストが表示されま す。

別の CC-SG に切り替える場合は、そのシステムのアカウントを持っていることも必要になります。アカウントがない場合、認証は失敗します。

隣接システムのいずれかのメンバで制限付きサービス同意書に同意する場合は、その隣接システム内のすべてのメンバについても同意することを意味します。

- ▶ 同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットにアクセスするには、以下の手順に従います。
- [Secure Gateway] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからアクセスする CC-SG ユニットを選択します。
- 2. [実行]をクリックします。

新しい CC-SG ユニットへのアクセスに成功した場合は、[すべてのノード] タブ、[お 気に入り] タブ、および [最近使用] タブのノード リストがすべて変更され、新しい CC-SG で利用できるノードが表示されます。

CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス

CC-SG Admin Client は、ユーザの許可に応じて管理タスクとアクセス タスクの両 方に GUI を提供する、Java ベースのクライアントです。

 サポートされているインターネット ブラウザを使用して、CC-SG の URL に続 けて「/admin」を入力し、https://IP アドレス/admin (たとえば https://10.0.3.30/admin 『https://10.0.3.30/admin』)を入力します。



[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウが表示さ れた場合、クライアント コンピュータに適した JRE バージョンを選択し、インスト ールします。 JRE がインストールされたら、この手順をもう一度試行してください。 「JRE 非互換性『p. 6』」を参照してください。

あるいは新しい JRE バージョンをインストールしないで続行することができます。

- 2. 制限付きサービス同意書が表示されたら、その内容を読み、[制限付きサービス 同意書を理解の上、同意します] チェックボックスを選択します。
- 3. [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。
- 4. ログインが成功すると、CC-SG Admin Client が開きます。

JRE 非互換性

必要最小限のバージョンの JRE がクライアント コンピュータにインストールされてい ない場合に、CC-SG Admin クライアントへのアクセスを試みると、警告メッセージが 表示されます。 CC-SG がクライアント コンピュータに必要な JRE ファイルを見つ けられないと、[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウ が開きます。

[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウが表示された 場合、クライアント コンピュータに適した JRE バージョンを選択してインストールする か、新しい JRE バージョンをインストールしないで続行することができます。

JRE がインストールされたら、CC-SG をもう一度起動する必要があります。

管理者は、推奨される最小限度の JRE バージョンおよび [JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウに表示されるメッセージを設定できます。 「カスタム JRE 設定の定義」を参照してください。

シック クライアント アクセス

CC-SG シック クライアントを使用すると、Web ブラウザを介してアプレットを実行す る代わりに Java Web Start アプリケーションを起動して CC-SG に接続できます。 Web ブラウザよりもシック クライアントの方が、速度と効率の面で優れています。 CC-SG シック クライアントは、Java ベースの Admin Client と同じ機能を備えて います。つまり、ユーザの許可に応じて管理タスクおよびアクセス タスクの GUI を提 供します。 シック クライアントの実行に必要な最小限度の Java バージョンは 1.5.0.10 です。

シック クライアントのインストール

CC-SG からシック クライアントをダウンロードするには、Web ブラウザを起動して、URL「http(s): //<IP_address>/install」と入力します。<IP_address>は、CC-SG の IP アドレスです。



- セキュリティ警告メッセージが表示されたら、[開始] をクリックしてダウンロードを続行します。
- ダウンロードが完了したら、CC-SG の IP アドレスを指定できる新規ウィンドウ が表示されます。
- 4. [接続先 IP] フィールドにアクセスする CC-SG ユニットの IP アドレスを入力 します。

接続後、このアドレスは [接続先 IP] ドロップダウン リストから使用できるように なります。IP アドレスは、ご使用のデスクトップに保存されているプロパティ ファイ ルに格納されます。

- CC-SG がセキュアなブラウザ接続に設定されている場合は、[セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオンにする必要があります。CC-SG がセキュア なブラウザ接続に設定されていない場合は、[セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオフにする必要があります。この設定は正しくなければなりません。 正しくない場合、シック クライアントは CC-SG に接続できません。
 - CC-SG の設定を確認するには、以下の手順に従います。[管理] > [セキュリティ] を選択します。[全般] タブで、[ブラウザ接続プロトコル] フィールドを参照します。[HTTPS/SSL] オプションが選択されている場合は、シッククライアントの IP アドレス指定ウィンドウの [セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオンにする必要があります。[HTTP] オプションが選択されている場合は、シッククライアントの IP アドレス指定ウィンドウの[セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオフにする必要があります。
- 6. [開始] をクリックします。

マシン上のサポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使 用すると、警告メッセージが表示されます。プロンプトの表示に従って、サポートさ れている Java バージョンをダウンロードするか、現在インストールされているバー ジョンで続行します。

- 7. ログイン画面が表示され、シック クライアントはブラウザベースの Java クライア ントと同様の表示および動作を行います。制限付きサービス同意書が有効になっている場合は、この同意書のテキストを読んでから、[制限付きサービス同意書 を理解の上、同意します] チェックボックスをオンにします。
- 8. 対応するフィールドにユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックして続 行します。



シック クライアントを使用した CC-SG へのアクセス

シック クライアントの実行に必要な最小限度の Java バージョンは 1.5.0.10 です。 Java バージョン 1.6.0 もサポートされています。

シック クライアントがインストールされたら、ご使用のクライアント コンピュータで 2 通りの方法でこのシック クライアントにアクセスできます。

To access the thick client:

- Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer からシック ク ライアントを起動します。
- Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer を使用して、 デスクトップにシック クライアント用のショートカット アイコンをインストールします。

Access Client クライアントからログアウトする

Access Client を使用した作業が終了したら、いずれかの [ログアウト] リンクをクリ ックしてログアウトします。[ログアウト] リンクをクリックせずにブラウザ ウィンドウを閉じて も、Access Client からログアウトされません。

隣接システムのアクティブなメンバである CC-SG からログアウトすると、すべての CC-SG からログアウトされ、隣接システム内のすべてのノードへの接続が終了しま す。



ノードの検索と表示

使用するクライアントに応じて、いくつかのノードの検索と表示の方法があります。

各クライアントのナビゲーションおよび検索機能を使用して、ノードの検索と表示を行 う方法については、「Access Client *でのノードの検索と表示* 『p. 9』」および 「Admin Client *でのノードの検索と表示* 『p. 12』」を参照してください。

各クライアントのカスタム表示機能を使用して、左パネルのノードの表示方法を指定 する方法については、「Access Client でのカスタム表示の使用 『p. 20』」および 「Admin Client でのカスタム表示の使用 『p. 22』」を参照してください。

この章の内容

Access Client でのノードの検索と表示	9
Admin Client でのノードの検索と表示	12
カスタム表示	19
Access Client でのカスタム表示の使用	20
Admin Client でのカスタム表示の使用	22

Access Client でのノードの検索と表示

3

CC-SG Access Client では、各ノードに関連付けられたインタフェースを介してノードに接続できます。各ノードには [ノードの詳細] 画面があり、関連付けられたアクセス可能なインタフェースがすべて一覧表示されます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、そのノードで仮想メディアが有効になっているかどうかも表示されます。

左パネルのノード リスト ([すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用]) のいずれかで ノードを 1 つクリックすると、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面が表示されま す。他のタブを表示した後は、画面上部の [ノード] タブをクリックして、選択したノー ドの [ノードの詳細] 画面に戻ることもできます。

CC-SG Access Client 画面の概要



- [Secure Gateway] ドロップダウン リスト: 画面上部にドロップダウン リストが 表示されます。これは、アクセス中の CC-SG ユニットが隣接システムの有効な メンバである場合のみ表示されます。このリストは、同じ隣接システムの複数の CC-SG ユニット間での切り替えに使用できます。
- 2. 現在の CC-SG 名: アクセス中の CC-SG ユニットの名前が左パネルの最上 部に表示されます。



- ユーザ ID と日付: CC-SG システムの日付と時刻、およびユーザ ID が画面 左上部に表示されます。[ユーザ ID] ハイパーリンクをクリックして、[プロファイル] タブを開きます。
- 4. 検索:検索機能により、2 種類の方法でノードを検索できます。
- ノード リスト: [検索] ボックスの下にノード リストがあります。それぞれのリストに 各ノードのステータスを示すアイコンが表示されます。[すべてのノード] リストには アクセスできるすべてのノードが一覧表示されます。[お気に入り] リストには、ユ ーザが指定したノード リストが表示されます。[お気に入り] ノード リストでは、ノ ードを追加、削除、並べ替えできます。[最近使用] リストには最近アクセスした 10 個のノードが表示されます。[ノード] タブを開くにはノードをクリックします。[ノ ード] タブでは選択したノードの詳細情報を示すノード プロファイルが表示され ます。[ノード] タブでは、インタフェースに接続すること、他のユーザとチャットする こと、および、パワー制御操作を実行することができます。
- 役に立つリンク: [役に立つリンク] セクションには、CC-SG Access Client を起 動するためのリンク (管理機能を実行する際に使用)、および、 『CommandCenter Secure Gateway ユーザ ガイド』を開くためのリンクがあ ります。
- 7. ヘルプ: 画面下部に表示される [ヘルプ] セクションは、黒い矢印をクリックする ことで、広げたり折りたたんだりすることができます。
- 8. メイン表示領域: メニュー バーやツール バーから選択するコマンドは、このメイン 領域に表示されます。
- 9. ログアウト: CC-SG からログアウトするには [ログアウト] をクリックします。
- 10. ナビゲーション タブ: ナビゲーション タブは各画面上部に位置します。関連付け られた画面を開くにはタブをクリックします。

ノード リスト

CC-SG HTML Client の左パネルでは、複数の方法でノードを検出できます。[す べてのノード]、[お気に入り]、および [最近使用] という 3 つのリストが用意されてお り、それぞれのノードを異なる観点から表示できます。それぞれのリストに各ノードのス テータスを示すアイコンが表示されます。リストのいずれかでノードをクリックすると、ノー ド プロファイルが表示されます。

カスタム表示を作成して、ノードの表示方法を指定することもできます。詳細について は、**「Access Client でのカスタム表示の使用** 『p. 20の"Access Client でのカ スタム表示の使用"』」を参照してください。

[すべてのノード] リスト

[すべてのノード] リストには、アクセスできるすべてのノードが一覧表示されます。カス タム表示を適用した場合は、[すべてのノード] リストの表示はカスタム表示の指定に 従います。詳細については、「*カスタム表示* 『p. 19』」を参照してください。



名前またはステータスによるノードのソート

[すべてのノード] リストを、ノード名またはノード ステータスでソートできます。

ノードを名前でソートするには

- 1. [すべてのノード] リストを開きます。
- 2. [ノードのソート]の[名称]をクリックします。

ノードをステータスでソートするには

- 1. [すべてのノード] リストを開きます。
- 2. [ノードのソート]の [ステータス]をクリックします。

[お気に入り] ノード リスト

[お気に入り] リストには、頻繁にアクセスするノードのリストをユーザごとに作成できま す。[お気に入り] ノード リストでは、ノードを追加、削除、並べ替えできます。

お気に入りにノードを追加

- 1. 左パネルの [すべてのノード] または [最近使用] リストをクリックします。
- [お気に入り] に追加するノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
- [ノードの詳細] 画面で、「お気に入りに追加] をクリックします。ブラウザ ウィンド ウの下のステータス バーに確認メッセージが表示されると、「お気に入りに追加] リンクが [ノードの詳細] 画面に表示されなくなります。

お気に入りのノードのソート

- 1. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。
- 2. [ソート] をクリックします。[お気に入りのソート] ウィンドウが表示されます。
- [お気に入りのノード] リスト内のノードを [お気に入り] リストに表示したい順に 並べます。ノードを選択し、そのノードが目的の順序になるように、上下の矢印 ボタンをクリックしてノードを移動します。[名前でソート] をクリックすると、英数字 の順序でノードが並べ替えられます。
- 4. [OK] をクリックして変更を保存します。

お気に入りからノードを削除

- 1. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。
- 削除するノードをクリックします。選択したノードの [ノードの詳細] 画面が表示 されます。
- 3. [お気に入り] リストの [削除] をクリックして、リストからそのノードを削除します。



[最近使用] ノード リスト

「最近使用」リストには最近アクセスした 10 個のノードが表示されます。ノードをクリックすると、そのノードが [最近使用] リストの最上部に表示されます。

[最近使用] ノード リストのクリア

- 1. 左パネルの [最近使用] リストをクリックします。
- 2. [すべてクリア] をクリックすると [最近使用] リストがクリアされます。

ノードの検索

- 1. 左パネルの上部にある [ノードの検索] フィールドに検索条件 (例: ノード名) を入力します。
- 2. 入力すると、検索条件に一致するノードが、選択したノード リストでハイライトさ れます。
 - [フィルタ]をクリックすると、検索条件に一致するノードのみがリストに表示されます。
 - [クリア] をクリックすると、すべてのノード リストが再ロードされ、検索条件は 削除されます。

Admin Client でのノードの検索と表示

管理権限のないユーザとして Admin Client クライアントにログインすると、左側の [ノード] タブに、自分がアクセス可能なすべてのノードが表示されます。表示されるメ ニューは、その他のアクセス許可によって異なります。



CC-SG Admin Client 画面の概要

TRaritan. CommandCenter* Secure Gateway			
Secure Gateway Nodes Report	s <u>V</u> iew <u>W</u> indow <u>H</u> elp		
10 8 8 9 8 8 8 8	# # 🗐 💭 💭 🏖 🤱 🗞 0 - 0 - 0	Server time: 09:48 (GMT-05:00)	
Nodes	Message of the Day	x	
CC-SG Gisco 2600 Gift HP ML370 Server Gift HP ML370 Se	CommandCenter Secure Gateway Centralized access and control for your global IT infrastructure" The Superuser of this CommandCenter Secure Gateway can modify this message by going to Administration>Message of the Day Setup		
4			
Search For Node			
Search Clear		Close	

- [ノード] タブ: ツリー表示で [ノード] をクリックしてすべてのノードを表示します。 インタフェースは親ノードの下に分類されています。ツリーを広げるには、[+] をクリ ックします。ツリーを折りたたむには、[-] をクリックします。ノード プロファイルを表 示するにはノードをクリックします。インタフェースを右クリックして、[接続] を選択 し、そのインタフェースに接続します。ノードはノード名 (アルファベット順)、または ノード ステータス (利用可能、使用中、利用不可) でソートできます。ツリー表 示を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノード ステータスでソート] をクリックします。
- 2. クィック コマンド ツールバー: このツールバーは、よく使うコマンドを実行するため のショートカット ボタンの役割を果たします。
- 操作メニュー バー: このメニューには、CC-SG の操作コマンドが含まれています。これらのコマンドの一部は、[ノード] 選択タブに表示されているアイコンを右ク リックしたときにも表示されます。表示されるメニューおよびメニューの項目は、ユ ーザ アクセス権限により決まります。
- 4. メイン表示領域: メニュー バーやツール バーから選択するコマンドは、このメイン 領域に表示されます。
- 5. サーバ時間: CC-SG で設定された現在の時刻とタイム ゾーンです。この時間 はクライアントで使用されている時間と異なる場合があります。



ノード アイコン

ノード ツリーでは、ステータスを区別しやすいように、ノード アイコンを色分けしています。

アイコン 意味

-	ノードは利用可能 - ノードには使用可能なインタフェースが少なくとも 1 つあり ます。
6	ノードは利用不可能 - ノードのすべてのインタフェースは使用中です。

ノード表示

アクセスできるすべてのノードが、CC-SG Admin Client の左パネルの [ノード] タブ に表示されます。

デフォルトでは、ノードは標準のツリー形式で表示されます。標準ツリー表示では、ノ ードはアルファベット順に並んでいます。順序を並べ替えるには、カスタム表示を作成 します。カスタム表示を使用すると、CC-SG 管理者により割り当てられたカテゴリを 基に、異なる基準でノードを分類できます。詳細については、「Admin Client での カスタム表示の使用『p. 22』」を参照してください。

また、ツリー表示とカスタム表示のいずれでも、名前別またはステータス別にノードを 並べ替えることができます。

ツリー表示

標準ツリー表示では、ノードはアルファベット順に並んでいます。[ノード] タブでツリー 表示を使用するには、以下の手順に従います。

- [ノード] > [表示の変更] > [ツリー ビュー] を選択します。ノードがツリー形式で 表示される [ツリー表示] になります。
 - ノードは名前のアルファベット順に表示されます。
 - インタフェースは親ノードの下に分類されています。+ と の記号をクリック すると、分類を広げたり折りたたんだりすることができます。
 - ツリー全体を広げたり折りたたんだりするには、画面上部にあるツールバーで [ツリーを広げる] および [ツリーを折りたたむ] の各アイコンをクリ ックします。



ノード並べ替えオプション

ツリー表示とカスタム表示のどちらでも、ノードをアルファベット順または可用性ステータ ス順で並べ替えることができます。

- [ノード] タブの空白の領域を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノード ステータスでソート] をクリックします。
 - [ノード名でソート] ではノード名のアルファベット順で並びます。
 - [ノード ステータスでソート] では可用性 (利用可能、使用中、利用不可) ごとに並びます。

ノードの検索

CC-SG の検索機能により、検索用語に一致するノードを検索できます。CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という2 種類の検索 タイプがあります。

- [検索結果でフィルタ]: 検索条件を入力して [検索] をクリックすると、その検索 条件に一致するノードが一覧示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。
- [一致する文字列の検索]:検索条件を入力すると、ノードリスト内の、その検索条件に最も一致するノードがハイライトされます。[検索]ボタンはありません。
 この検索タイプではワイルドカード(*)は使用できません。

検索設定は CC-SG プロファイルで設定できます。プロファイルを表示するには、 [Secure Gateway] メニューの [プロファイル] をクリックします。詳細については、 「*検索設定の設定* 『p. 54』」を参照してください。

ノードの検索

- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. [ノードの検索] フィールドに検索文字列を入力します。



3: ノードの検索と表示

3. 検索設定によって、検索条件に一致する最初のノードをノード ツリーでハイライ トするか、または [検索] をクリックして検索条件に一致するノードのみをフィルタ して一覧表示するかを選択できます。









ノードの検索で使用できるワイルドカード

[検索結果でフィルタ] を [プロファイル] の検索設定として設定している場合は、次のワイルドカードがサポートされます。詳細については、「*検索設定の設定* 『p. 54』」を参照してください。

ワイルドカード	説明	検索用語の例	検索結果の例
?	任意の文字を示す。	Solaris?	「Solaris1」や「SolarisN」はヒットし ますが、「Solaris1Z」はヒットしませ ん。
[-]	範囲内の文字を示す。	Windows[0-9][0-9][0-9][0-9]	「Windows2000」および 「Windows2003 サーバ」がヒットし ます。
*	0 か 1 文字以上の文字を示 す。	Windows*	「Windows2000」はヒットしますが 「Windows2003 サーバ」はヒットし ません。

インタフェースをブックマークに設定

特定のインタフェースから頻繁にノードにアクセスする場合は、そのインタフェースをブックマークに設定すると、ブラウザから簡単に使用できます。

- ブラウザでインタフェースをブックマークに設定するには
- 1. [ノード] タブで、ブックマークに設定するインタフェースを選択します。インタフェー スを表示するには、ノードを展開する必要があります。
- 2. [ノード] メニューの [ノード インタフェースをブックマークに設定] を選択します。
- 3. [URL をクリップボードにコピー] を選択します。
- 4. [OK] をクリックします。URL がクリップボードにコピーされます。
- 5. 新しいブラウザ ウィンドウを開き、URL をアドレス フィールドに貼り付けます。
- 6. Enter キーを押して URL に接続します。
- URL をブックマーク ("お気に入り" とも呼ばれます) としてブラウザに追加します。
- Internet Explorer でインタフェースをブックマークに設定する (インタフェースを お気に入りに追加する) には
- 1. [ノード] タブで、ブックマークに設定するインタフェースを選択します。インタフェー スを表示するには、ノードを展開する必要があります。



- 2. [ノード] メニューの [ノード インタフェースをブックマークに設定] を選択します。
- 3. [ブックマークに追加 (IE のみ)] を選択します。
- ブックマークのデフォルト名が [ブックマーク名] フィールドに表示されます。 Internet Explorer の [お気に入り] リストに表示される名前を変更できます。
- 5. [OK] をクリックします。 [お気に入りの追加] ウィンドウが表示されます。
- 6. [OK] をクリックして、[お気に入り] リストにブックマークを追加します。
- ブックマークに設定したインタフェースにアクセスするには
- 1. ブラウザ ウィンドウを開きます。
- 2. ブラウザのブックマークのリストから、ブックマークに設定したインタフェースを選択します。
- 3. CC-SG Access Client が表示されたら、インタフェースへのアクセス権を持つ ユーザとしてログインします。インタフェースへの接続が開始されます。
- ▶ すべてのノードのブックマーク URL を取得するには、以下の手順に従います。
- ノード資産レポートですべてのノードのブックマーク URL を取得できます。「ノ ード資産レポート」を参照してください。

カスタム表示

カスタム表示では、管理者が設定したカテゴリとノード グループを使用して、左パネル のノードの表示方法を指定できます。

CC-SG には、ノードをアルファベット順にソートする [ツリー表示] も用意されていま す。[ツリー表示] は変更を加えたり削除することはできません。

カスタム表示の種類

カスタム表示には、ノード グループ別のフィルタとカテゴリ別の表示という 2 種類があ ります。

カテゴリ別の表示

[カテゴリ別の表示] を適用した時点で、指定したカテゴリに分類されるすべてのノード がノード リストに表示されます。割り当てられているカテゴリがないノードは、「関連な し」として表示されます。



カテゴリとは

CC-SG 管理者は関連を設定することにより、装置を整理しやすくできます。各関 連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリの サブセット) が含まれます。管理者によってカテゴリとエレメントがノードに割り当てられ ている場合は、ノードが属するカテゴリに基づいて、ノードを表示するカスタム表示を 設定できます。

ノードに割り当てられているすべてのカテゴリとエレメントは、ノード詳細画面に表示されます。詳細については、「*CC-SG Access Client 画面の概要* 『p. 9』」を参照してください。

ノード グループでフィルタ

[ノード グループでフィルタ] カスタム表示を適用した時点で、指定したノード グルー プのみがノード リストに表示されます。組織の最初のレベルは、ノード グループ名で す。カスタム表示で定義されている複数のノード グループにノードが属している場合 は、ノードがリストに複数回表示されることがあります。カスタム表示で指定されたノー ド グループに属していないノードは、リストに表示されません。

ノード グループとは

CC-SG 管理者はノード グループを設定することにより、ノードを整理しやすくできま す。管理者がノード グループを設定すると、ノード リストに表示するノード グループ とその表示順序を指定して、カスタム表示を定義できます。

Access Client でのカスタム表示の使用

カスタム表示の追加

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- 2. [追加] をクリックして [表示の追加] ウィンドウを開きます。
- 指定したノード グループのみを表示するカスタム表示を作成するには、[ノード グループでフィルタ] を選択します。指定したカテゴリに基づいてノードを表示する カスタム表示を作成するには、[カテゴリ別の表示]を選択します。
- [表示の名前] フィールドにカスタム表示の名前を入力し、[OK] をクリックします。 新しいカスタム表示名が、[カスタム表示] 画面の [表示の名前] フィールドに表 示されます。
- 5. [利用可能] リストで、カスタム表示に追加する項目を選択して [追加] をクリッ クすることで、その項目を [選択中] リストに移動します。この手順を繰り返して、 必要なすべてのカテゴリまたはノード グループを [選択中] リストに追加します。



- [選択中] リスト内の項目を、「すべてのノード] リストに表示したい順に並べます。
 [選択中] リストで項目を選択し、その項目が目的の順序になるように上下の 矢印ボタンをクリックして移動します。
- "デバイス、ポート、およびノード管理" 権限を付与されている場合は、[システムの表示] チェック ボックスをオンにして、このカスタム表示をシステム全体のデフォルト表示として指定することができます。(任意)
- 8. [保存] をクリックしてカスタム表示を保存します。

カスタム表示の適用

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- 2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [すべてのノード] リスト に適用するカスタム表示を選択します。
- 3. [表示を適用] をクリックすることで、選択したカスタム表示にしたがって [すべての ノード] リストをソートします。

カスタム表示の変更

ツリー表示は変更できません。

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- [表示の名前] フィールドには、画面の [カテゴリ別の表示] セクシンにカテゴリが 表示されているカスタム表示名が表示されます。
- [すべてのノード] リストに表示されるカテゴリまたはノード グループの順序を変更 するには、[選択中] リスト内の項目をクリックしてから上下の矢印ボタンをクリック して、目的の順序になるように項目を移動します。
- カスタム表示に項目を追加するには、[利用可能] リストから項目を選択し [追加] をクリックして、項目を [選択中] リストに移動します。
- カスタム表示から項目を削除するには、[選択中] リストから項目を選択し [削 除] をクリックします。
- 6. [保存]をクリックして変更を保存します。

カスタム表示名の変更

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、名前を変更するカスタム表示をリ ストから選択します。
- 3. [編集] をクリックして [表示の編集] ダイアログを開きます。
- 4. [表示の名前] フィールドにカスタム表示の新しい名前を入力し、[OK] をクリック します。



カスタム表示の削除

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- 2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから削除するカスタム表示を 選択します。
- 3. [削除] をクリックします。ツリー表示は削除できません。

デフォルトのカスタム表示の指定

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、デフォルトにするカスタム表示をリ ストから選択します。
- 3. [デフォルトに設定]をクリックします。

デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定

CC の設定と制御の権限がある場合は、デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザ に指定できます。

- 1. [カスタム表示] タブをクリックします。
- 2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックして、システム全体のデフォルトの表示として指定するカスタム表示を選択します。
- 3. [システム表示] チェック ボックスをオンにします。
- 4. [保存]をクリックします。

CC-SG にログインするすべてのユーザに、選択したカスタム表示で指定されて いるカテゴリに従ってソートされた [すべてのノード] リストが表示されます。この場 合でもユーザはカスタム表示を変更できます。

Admin Client でのカスタム表示の使用

ノードのカスタム表示の追加

- ノードのカスタム表示を追加するには、以下の手順に従います。
- 1. [ノード] タブをクリックします。
- [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を 選択します。 [カスタム表示] 画面が表示されます。
- [カスタム表示] パネルで、[追加] をクリックします。[カスタム表示の追加] ウィン ドウが開きます。
- 4. 新しいカスタム表示の名前を [カスタム表示名] フィールドに入力します。



- 5. [カスタム表示タイプ] セクションで、次の操作を行います。
 - 指定したノード グループのみを表示するカスタム表示を作成するには、[ノー ド グループでフィルタ]を選択します。
 - 指定したカテゴリに基づいてノードを表示するカスタム表示を作成するには、 [カテゴリ別の表示]を選択します。
- 6. [OK] をクリックします。
- 7. [カスタム表示の詳細] セクションで、次の操作を行います。
 - a. [利用可能] リストでカスタム表示に組み込む項目を選択し、[追加] をクリックして、その項目をリストに追加します。この手順を繰り返し、必要な数だけ項目を追加します。
 - b. [選択中] リストの項目は、[ノード] タブに表示する各グループの順序にします。項目を選択し、その項目が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックして項目を移動します。
 - c. リストから項目を削除する場合は、項目を選択して [削除] をクリックします。
- [保存] をクリックします。メッセージが表示され、カスタム表示が追加されたことを 確認します。
- 新しいカスタム表示を適用するには、[Set Current] (現在の表示に設定) をク リックします。

ノードのカスタム表示の適用

- カスタム表示をノードリストに適用するには、以下の手順に従います。
- [ノード] > [表示の変更] > [カスタム表示] を選択します。 [カスタム表示] 画 面が表示されます。
- 2. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
- 3. [表示を適用]をクリックします。

または

 [ノード] メニューの [表示の変更] を選択します。定義済みのすべてのカスタム 表示がポップアップ メニューにオプションとして表示されます。適用するカスタム表 示を選択します。

ノードのカスタム表示の変更

- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を 選択します。 [カスタム表示] 画面が表示されます。



[名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
 [カスタム表示の詳細] パネルに、含まれる項目の詳細とその順番が表示されます。

カスタム表示名を変更するには

- 1. [カスタム表示] パネルで [編集] をクリックします。 [カスタム表示の編集] ウィン ドウが開きます。
- カスタム表示の新しい名前を [カスタム表示の新しい名前を入力] フィールドに 入力し、[OK] をクリックします。 [カスタム表示] 画面の [名前] フィールドに新 しい表示名が表示されます。

カスタム表示の内容を変更するには

- 1. [カスタム表示の詳細] セクションで、次の操作を行います。
 - a. [利用可能] リストでカスタム表示に組み込む項目を選択し、[追加] をクリ ックして、その項目をリストに追加します。この手順を繰り返し、必要な数だ け項目を追加します。
 - b. [選択中] リストの項目は、[ノード] タブに表示する各グループの順序にします。項目を選択し、その項目が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックして項目を移動します。
 - c. リストから項目を削除する場合は、項目を選択して [削除] をクリックします。
- [保存] をクリックします。メッセージが表示され、カスタム表示が追加されたことを 確認します。
- 3. 新しいカスタム表示を適用するには、[Set Current] (現在の表示に設定) をク リックします。

ノードのカスタム表示の削除

- ▶ ノードのカスタム表示を削除するには、以下の手順に従います。
- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を 選択します。 [カスタム表示] 画面が表示されます。
- [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
 [カスタム表示の詳細] パネルに、含まれる項目の詳細とその順番が表示されます。
- [カスタム表示] パネルで [削除] をクリックします。 [カスタム表示の削除] の確 認メッセージが表示されます。
- 5. [はい] をクリックします。



ノードのデフォルトのカスタム表示の指定

- ▶ ノードのデフォルトのカスタム表示を割り当てるには、以下の手順に従います。
- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を 選択します。 [カスタム表示] 画面が表示されます。
- 3. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
- 4. [カスタム表示] パネルで [デフォルトに設定] をクリックします。次回ログインするときに、選択したカスタム表示がデフォルトで使用されます。

ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定

CC の設定と制御の権限がある場合は、デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザ に指定できます。

- ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに割り当てるには、以下の手順に従います。
- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を 選択します。
- 3. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックして、システム全体のデフォルト表示と して割り当てるカスタム表示を選択します。
- 4. [システムの表示] チェックボックスを選択して、[保存] をクリックします。

CC-SG にログインするすべてのユーザに、選択したカスタム表示に従ってノードがソ ートされた [ノード] タブが表示されます。ユーザはカスタム表示を変更できます。



ノードへの接続

使用するクライアントの種類に応じて、いくつかのノードへの接続方法があります。ただし、ノードに接続した後、各インタフェースタイプのワークフローはどちらのクライアントでも同じです。詳細については、「*インタフェースについて*『p. 32』」を参照してください。

各クライアントの接続方法については、「Access Client を使用したノードへの接続 「P. 27」」および「Admin Client を使用したノードへの接続 『p. 30の"Admin Client を使用したノードへの接続"』」を参照してください。

また、以下のセクションでワークフローの詳細と各インタフェース タイプの一般的なアプリケーションを確認してください。詳細については、「ノードにアクセスするためのアプリケーション 『p. 32』」を参照してください。

- アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続『p. 34』
- アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続 [p. 36]
- iLO プロセッサが有効なノードへの接続『p. 37』
- インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続『p. 38』
- Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続『p. 39』

ノードのパワー制御の処理は、使用するクライアントによって異なります。詳細については、「Access Client を使用したノードのパワー制御『p. 44の"Access Clientを使用したノードのパワー制御"』」および「Admin Client を使用したノードのパワー制御"」」および「Admin Client を使用したノードのパワー制御 『p. 47』」を参照してください。

この章の内容

Access Client を使用したノードへの接続	27
Admin Client を使用したノードへの接続	30
ノードにアクセスするためのアプリケーション	32
インタフェースについて	32
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続	34
アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続	36
iLO プロセッサが有効なノードへの接続	37
インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続	38
Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続	39
VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホス	トノード
に接続する	39
VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する	40
ノードからの切断	41



Access Client を使用したノードへの接続

Access Client でノードに接続するには、2 つの方法があります。これらのオプションは、それぞれ関連付けられているアプリケーションを起動し、ノードに接続します。

- 左パネルのいずれかのノードリストで、ノードをダブルクリックします。
- [ノードの詳細] 画面の [インタフェース] セクションで、名前のハイパーリンクをクリ ックします。



[ノード プロファイル] 画面の概要: Access Client

Access Client では、[ノード] タブにノードのすべての詳細を表示できます。

左パネルのノード リスト ([すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用]) のいずれかで ノードを 1 つクリックすると、[ノード] プロファイル画面が表示されます。他のタブを使 用後に画面最上部の [ノード] タブをクリックして [ノード] プロファイル画面に戻るこ ともできます。

表示される情報と特徴

- 選択したノード名が [ノード プロファイル] 画面の先頭に表示されています。[お気に入りに追加] をクリックすると [お気に入り] リストにノードを追加できます。
 詳細については、「[あ気に入り] ノード リスト 『p. 11』」を参照してください。
- 選択したノードがブレード シャーシの場合、ブレード シャーシを管理しているデ バイスの名前がノード名の下に表示されます。
- 選択したノードがブレード サーバの場合、サーバが常駐するブレード シャーシの 名前が表示されます。ブレード サーバ モデルによっては、スロット番号も表示さ れることがあります。
- 同じノードに接続している他のユーザとチャットできます。詳細については、
 「Access Client を使用したノード チャット 『p. 50』」を参照してください。
- ヘルプを表示するには、ノード プロファイルの下端にある [ヘルプ] セクションの内容を表示するか、または、[ヘルプ] タブをクリックしてすべてのヘルプトピックを表示します。
- タブ
- [インタフェース] タブには、選択したノードに関連付けられているインタフェースの 接続タイプ、名前、ステータス、可用性、およびデバイス/IP アドレスが表示され ます。[デバイス/IP アドレス] 列には、アウト オブ バンド インタフェースのデバイ ス名およびイン バンド インタフェースの組み込みサーバ IP アドレスが表示され ます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、[仮想メディア] 列に [有効] ま たは [無効] のステータスが表示されます。ノードに接続するには、名前のハイパ ーリンクをクリックして関連アプリケーションを開き、ノードに接続します。[パワー制 御] セクションには、選択したノードのすべての電源が表示されます。ノードに複 数のパワー インタフェースがある場合は、[パワー制御] セクションの隣に [詳細] リンクが表示されます。詳細については、「Access Client を使用したノードの ノパワー制御『p. 44の"Access Client を使用したノードのパワー制御"』」を参 照してください。



- [関連] タブには、選択したノードに関連付けられたカテゴリとエレメントが表示されます。CC-SG 管理者は関連を設定することにより、CC-SG が管理する装置を整理しやすくします。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。関連を使用して、 [すべてのノード] リストをさまざまな方法で整理できるカスタム表示を作成できます。詳細については、「カスタム表示『p. 19』」を参照してください。
- [ロケーションと連絡先] タブには、ノードの場所と連絡先 (例:電話番号) に 関する情報が表示されます。これらの情報は、ノード使用時に必要となることが あります。
- [メモ] タブには、ノードに関するメモを追加するためのツールがあります。このメモは、他ユーザに読んでもらうものです。すべてのメモがこのタブに表示されます。その際、メモが追加された日付、および、メモを追加したユーザの名前と IP アドレスも表示されます。
- [監査] タブには、ノードがアクセスされた理由が一覧表示されます。自分が所属するユーザ グループに対して管理者がノード監査機能を有効にしている場合、ノードに接続する前にその理由を入力する必要があります。ノード監査機能が無効になっている場合、または、ノードにアクセスする理由がまったく入力されていない場合、[監査] タブは表示されません。
- [制御システム データ] タブ、[仮想ホスト データ] タブ、および [仮想マシン データ] タブは、仮想基盤内のノードに対して表示されます。これらのタブには、仮想ノードに関する情報が表示されます。具体的に言うと、[制御システム データ] タブには制御システムに関する情報、[仮想ホスト データ] タブには仮想ホスト に関する情報、[仮想マシン データ] タブには仮想マシンに関する情報がそれぞれ表示されます。
- [ブレード] タブは、ブレード シャーシ ノードに表示され、そのブレード シャーシに 常駐するブレード サーバについての情報を含みます。



Admin Client を使用したノードへの接続

Admin Client でノードに接続するには、いくつかの方法があります。これらのオプションは、それぞれ関連付けられているアプリケーションを起動し、ノードに接続します。

- [ノード] タブでノードを選択して Enter キーを押すと、デフォルトのインタフェース を使用してノードに接続します。
- [ノード] タブでインタフェースを選択して Enter キーを押すと、選択したインタフェ ースを使用してノードに接続します。
- ノードのステータスが [利用可能] の場合に、[ノード] タブでノードをダブルクリッ りすると、デフォルトのインタフェースを使用してノードに接続します。ノードのステ ータスが [利用不可] の場合は、ノードをダブルクリックしても接続できません。
- インタフェースが作動中でその可用性が [アイドル] または [接続しました] の場合は、[ノード] タブでインタフェースのラベルをダブルクリックすると、選択インタフェースを使用してノードに接続します。インタフェースが停止しているか、または可用性が [使用中] の場合は、インタフェースをダブルクリックしても接続できません。
- ノード プロファイル画面でインタフェースのハイパーリンクをクリックすると、そのイン タフェースを使用してノードに接続します。
- [ノード] タブでインタフェースを右クリックして、[接続] を選択します。

[ノード プロファイル] 画面の概要: Admin Client

Admin Client では、[ノード プロファイル] 画面にノードのすべての詳細を表示できます。[ノード プロファイル] 画面を開くには、[ノード] タブでノードを選択します。

- 選択したノード名が [ノード プロファイル] 画面の先頭に表示されています。
- [インタフェース] タブには、選択したノードに関連付けられているインタフェースの 接続タイプ、名前、ステータス、可用性、およびデバイス/IP アドレスが表示され ます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、[仮想メディア] 列に [有効] ま たは [無効] のステータスが表示されます。パワー制御用のインタフェースも [イ ンタフェース] セクションに表示されます。詳細については、「Admin Client を 使用したノードのパワー制御 [p. 47]」を参照してください。

注: インバンド iLO Processor KVM、インバンド DRAC KVM、インバンド RSA KVM の場合は、可用性は表示されません。



- [関連] タブには、選択したノードに関連付けられたカテゴリとエレメントが表示されます。CC-SG 管理者は関連を設定することにより、CC-SG が管理する装置を整理しやすくします。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。関連を使用して、 [すべてのノード] リストをさまざまな方法で整理できるカスタム表示を作成できます。詳細については、「カスタム表示『p. 19』」を参照してください。
- [ロケーションと連絡先] タブには、ノードの場所と連絡先 (例:電話番号) に 関する情報が表示されます。これらの情報は、ノード使用時に必要となることが あります。
- [メモ] タブには、ノードに関するメモを追加するためのツールがあります。このメモは、他ユーザに読んでもらうものです。すべてのメモがこのタブに表示されます。その際、メモが追加された日付、および、メモを追加したユーザの名前と IP アドレスも表示されます。
- [監査] タブには、ノードがアクセスされた理由が一覧表示されます。自分が所属するユーザ グループに対して管理者がノード監査機能を有効にしている場合、ノードに接続する前にその理由を入力する必要があります。ノード監査機能が無効になっている場合、または、ノードにアクセスする理由がまったく入力されていない場合、[監査] タブは表示されません。
- [制御システム データ] タブ、[仮想ホスト データ] タブ、および [仮想マシン データ] タブは、仮想基盤内のノードに対して表示されます。これらのタブには、仮想ノードに関する情報が表示されます。具体的に言うと、[制御システム データ] タブには制御システムに関する情報、[仮想ホスト データ] タブには仮想ホスト に関する情報、[仮想マシン データ] タブには仮想マシンに関する情報がそれぞれ表示されます。
- [ブレード] タブは、ブレード シャーシ ノードに表示され、そのブレード シャーシに 常駐するブレード サーバについての情報を含みます。



ノードにアクセスするためのアプリケーション

アウト オブ バンド ノードに接続すると、そのノードに対するデフォルトの Raritan ア プリケーションが起動します。

アプリケーションには、次のようなものがあります。

- Raritan Console (RC)
- Raritan Serial Console (RSC)
- Raritan Remote Client (RRC)
- Multi-Platform Client (MPC)
- 仮想 KVM クライアント

詳細については、Raritan の『KVM and Serial Access Clients User Guide』を参照してください。

これらのガイドは、Raritan の Web サイトの「Support」セクションの「Firmware and Documentation」にあります。

イン バンド ノードまたは仮想ノードに接続すると、そのノードに対するベンダ製アプリ ケーションが起動します。

インタフェースについて

各ノードには、そのノードに接続するためのインタフェースが 1 つ以上用意されています。

また、多数のインタフェース タイプがあり、それぞれにノードへのさまざまなアクセス タイ プが用意されています。次の表に示す略語は、Admin Client の [ノード] タブでイ ンタフェース名のプレフィックスとして使用されます。

インタフェースのタイプ	インタフェースの略語
アウト オブ バンド KVM	OOB-KVM
アウト オブ バンド シリアル	OOB-Serial
インバンド DRAC KVM	IB-DRAC
インバンド RSA KVM	IB-RSA
インバンド iLO Processor KVM	IB-ILO Processor
インバンド SSH	IB-SSH
インバンド VNC	IB-VNC
インバンド RDP	IB-RDP



インタフェースのタイプ	インタフェースの略語
インバンド Telnet	IB-TELNET
パワー制御: iLO Processor	PWR-ILO Processor
パワー制御: DRAC	PWR-DRAC
パワー制御: IPMI	PWR-IPMI
パワー制御: 管理対象電源タップ	PWR-PDU
パワー制御: RSA	PWR-RSA
Web ブラウザ	WEB
VI クライアント	VIC
VMware Viewer	VMV
Virtual Power	Virtual PWR

▶ ノードに関連付けられているインタフェースを表示するには

ノードを選択して、[ノード プロファイル] 画面を開きます。そのノードに関連付けられているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。

Access Client では、[インタフェース] セクションにパワー制御インタフェースが表示されます。

▶ インタフェースの可用性を確認するには

ノード プロファイルの [インタフェース] セクションの [可用性] 列を確認することで、インタフェースが使用可能かどうかを把握できます。

可用性	意味
アイドル	インタフェースは未使用です。
接続しました	インタフェースは使用中ですが、他のユーザも利用できます。
使用中	インタフェースは使用中で、これ以上ユーザを受け入れられません。
アクセス不可	ブレード サーバ ノードへのパスはすべて使用中なので利用できま せん。

注: KX 1.4 デバイスに接続されているノードでは、可用性のカテゴリとして上記の 「使用中」を使用しません。KX 1.4 に接続されているノードのインタフェースの可用 性カテゴリに「接続しました」と表示されている場合は、「接続しました」と「使用中」の どちらかの状態と考えられます。



アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続

- 接続するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。
 [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定された インタフェースが表示されます。
- 2. [名称] 列でノードへの接続に使用するアウト オブ バンド KVM インタフェース のハイパーリンクをクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- 4. RRC、MPC、または仮想 KVM クライアント アプリケーションが新しいウィンド ウで起動します。

注: FireFox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題が 発生することがあります。この場合は、ブラウザのキャッシュをクリアして、アプリケ ーションを再起動してください。



5. 接続ステータス ウィンドウが開きます。接続が確立されると、RRC、MPC、また は仮想 KVM クライアントが開きます。



Connection Serial Keyboard Video Mouse Virtual Media Tools View Window Help

at 192,168.	53.121 11 Win-NT 4.0	ต์ ต่ำ
Computer		
.	Document - WordPad	
39	Ele Edi Vew Inter Format Help	
etwork hborhood	DER BORN NUMBER	
-	Times New Roman	224
9	a	.7
nbox		
8	hello I	
plorer		
scie Bin		
1		



注: MPC アプリケーションを使用している場合、MPC のユーザ プロファイルは CC-SG にも保存されます。それ以後、MPC を使用してノードに接続すると、 保存されている設定が MPC セッションにも適用されます。



 RRC または仮想 KVM クライアントとの接続を解除するには、[Connection (接続)] メニューの [終了] をクリックします。MPC との接続を解除するには、ウ ィンドウの右上隅にある "閉じる" ボタンをクリックします。

注: KVM ノードがスリープ モードで「ビデオ信号なし」と表示される場合は、キ ーボードのスペース バーを押してノードのスリープ モードを解除します。

アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続

1. 接続するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。

[ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定された インタフェースが表示されます。

2. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するシリアル インタフェースのハイパーリンク をクリックします。



- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- RSC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。アプリケーションを使用してノードを管理します。
- 5. RSC によるポートの管理を終了する場合は、[Emulator (エミュレータ)] メニュ ーの [終了] をクリックします。

初めてのシリアル インタフェースへのアクセス

ノードがコンソール アプリケーション用に設定されている場合は、コンソール アプレット が Raritan Systems の署名付きアプレットであることを示すセキュリティ警告が表 示されます。[はい] をクリックすると、コンソールが表示されます。

重要:セキュリティ警告 (IE のみ表示) は、ユーザが初めてシリアル イ ンタフェースに接続したときに表示されます。この画面が表示されたら [はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、コンソール アプ リケーションは起動しません。CC-SG を終了し、ブラウザを終了して再 起動して、CC-SG に再接続する必要があります。

iLO プロセッサが有効なノードへの接続

- ノード ツリーで、接続および管理する iLO/RILOE ノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
- [ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェー ス] セクションに表示されます。
- 3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用する KVM インタフェースのハイパーリンク をクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- 5. HP のリモート コンソール アプレットが起動します。アプレットがロードされると、 iLO/RILOE が有効なサーバへの KVM アクセスが可能になります。
- 6. Remote Console を使い終えたら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。



インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続

CC-SG は、SSH 対話的キーボード認証をサポートしているので、この認証メカニ ズムを SSH サーバで有効にできます。

- 1. ノード ツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノード プロファイル] ページが開きます。
- 2. [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定された インタフェースが表示されます。
- 3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するインバンド KVM インタフェースのハイ パーリンクをクリックします。
- 4. インタフェースによって、この手順は異なります。
 - SSH、TELNET、および VNC インタフェースでは、CC-SG 管理者がユ ーザ名とパスワードをインタフェースで設定していない場合、[アプリケーション 起動パラメータ] ダイアログ ボックスが表示されます。[ユーザー名] と [パス ワード] を入力し、[OK] をクリックします。
 - RDP インタフェースの場合、[アプリケーション起動パラメータ] ダイアログ ボックスが開きます。CC-SG 管理者がユーザ名とパスワードをインタフェースで設定していない場合は、ダイアログ ボックスでユーザ名とパスワードを入力する必要があります。このセッションで使用したい画面サイズと色深度を選択し、[OK] をクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- 6. Remote Console アプレットが新しいウィンドウで起動します。アプレットがロー ドされると、KVM でノードにアクセスできるようになります。

注: インバンド KVM インタフェースにアクセスできない場合、他のユーザがこの インタフェースを使用中である可能性があります。

7. Remote Console を使い終えたら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。



Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続

Web ブラウザ インタフェースを使用すると、ブラウザを起動して、ノードに関連付けら れている Web アプリケーションに接続できます。Web に対応したノードには、 Raritan Dominion PX、および、RSA、DRAC、または ILO プロセッサ カードを 搭載したノードがあります。

- ▶ Web ブラウザ インタフェースを使用してノードに接続するには
- 左パネルのノード リストのいずれかで、Web アプリケーションを使用するノードを 選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。

[ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。

- 2. [名称] 列で、ノードへの接続に使用する Web ブラウザ インタフェースのハイパ ーリンクをクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- 4. デフォルトのブラウザが起動し、Web ブラウザ インタフェースに関連付けられている URL が開きます。アクセスするのにログインが必要になる場合があります。
- Web アプリケーションを使い終えたら、ブラウザ ウィンドウを閉じて接続を終了します。

VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続 する

Internet Explorer を使用している場合、Cookie 処理に関する次のオプションを 有効にする必要があります。Internet Explorer で [ツール] メニューの [インターネッ ト オプション] をクリックします。[プライバシー] タブをクリックし、[詳細設定] をクリック します。[自動 Cookie 処理を上書きする] チェック ボックスをオンにします。[ファース ト パーティの Cookie] および [サード パーティの Cookie] でそれぞれ [受け入れ る] をクリックします。[常にセッション Cookie を許可する] チェック ボックスをオンにし ます。

- 左パネルのノード リストのいずれかで、接続したい制御システム ノードまたは仮 想ホスト ノードを選択します。
- [インタフェース] タブで [VI Client interface (VI クライアント インタフェース)] をクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。



 ユーザ名とパスワードを入力するよう要求された場合は、入力します。シングルサインオンが有効になっている場合、VMware Virtual Infrastructure Web Access クライアントに直接接続されます。

VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する

Windows 上で Firefox を使用している場合、VMW Viewer インタフェースに接続する前に、CC-SG の IP アドレスを [許可サイト - アドオンのインストール] 一覧および [許可サイト - ポップアップ] 一覧に追加しておく必要があります。

サポート対象ブラウザを使用して仮想マシンに初めて接続する場合、VMware から アドオンをダウンロードするよう要求されることがあります。この場合、アドオンをインスト ールした後、ブラウザを再起動します。

- 1. 左パネルのノード リストのいずれかで、接続したい仮想マシン ノードを選択しま す。
- [インタフェース] タブで [VMW Viewer interface (VMW Viewer インタフェー ス)] をクリックします。
- 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
- 4. [Virtual Machine Remote Console (仮想マシン Remote Console)] ウィ ンドウが開きます。



ノードからの切断

ノードから切断するには、いくつかの方法があります。使用するクライアントの手順に 従ってください。

Access Client を使用してノードから切断するには

ノードの管理に使用していたアプリケーションを閉じます。

- ▶ Admin Client を使用してノードから切断するには、以下の手順に従います。
- [ノード] タブで、切断するアクティブ ノードを選択します。[ノード] > [切断] を選択します。
- [ノード] タブで、切断するアクティブ ノードを右クリックし、[切断] をクリックします。
- [ノード] タブで、ノードの接続に使用しているアクティブ インタフェースを右クリックし、[切断] をクリックします。
- ノードの管理に使用していたアプリケーションを閉じます。

注 1: 標準ユーザは、自分で接続を開始しなかったノードから切断することはできません。

注 2: CC スーパーユーザの場合は、Admin Client で、任意のユーザのノード接続セッション (別の CC スーパーユーザが開始したものも含む)を切断できます。

注 3: CC-SG 管理者の場合は、Admin Client で、任意のユーザのノード接続セ ッション (CC スーパーユーザが開始したものを除く) を切断できます。



パワー制御

CC-SG では、パワー インタフェースが関連付けられた単一ノードまたはノード グル ープのパワーを制御できます。

電源オン、電源オフ、電源のリセット、および正常なシャットダウンを実行できます。また、仮想ノードに対して中断操作を実行できます。

ノードで正常なシャットダウンを実行すると、新たなプロセスを開始せず、現在実行中のすべてのプロセスを完了できるため、プロセスを中断することなくノードをシャットダウンできます。ノードのタイプによっては正常なシャットダウンが使用できないことがあります。

この章の内容

パワー制御インタフェースとは	42
複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント	43
パワー ステータス メッセージ	43
Access Client を使用したノードのパワー制御	44
Admin Client を使用したノードのパワー制御	47

パワー制御インタフェースとは

5

パワー制御インタフェースは、ノードへの電源供給を制御します。

パワー制御インタフェースには、次のようなものがあります。

- IPMI、iLO、DRAC、RSA など、ノードのパワーを直接制御するインバンド パ ワー制御インタフェース
- 電源タップまたは Dominion PX デバイスのコンセントを使用してノードのパワー を制御する管理対象電源タップ インタフェース
- 仮想マシンへの給電を制御する仮想パワー インタフェース



複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント

電源をオン・オフ (リセット) する場合は、次のヒントに従ってください。

- 二重化電源を備えたサーバ
- 管理対象電源タップのコンセントにも接続する管理カードが組み込まれたサーバ
- 二重化電源を備えたサーバの電源をリセットする場合は、両方の管理対象電 源タップ インタフェースが選択されていること、およびこれらのインタフェースが選 択したインタフェースのリスト内で相互に近い位置にあることを確認します。これ は、グループにおけるインタフェースの順序に基づいて実行順序が決まるからで す。
- Raritan 管理対象電源タップにも接続する管理カードが組み込まれたサーバの 電源をリセットする場合は、管理対象電源タップ インタフェースまたは組み込み のパワー インタフェースのどちらか一方を選択して、パワー制御操作を実行しま す。両方のインタフェースを選択すると、コマンドのタイミングによってはサーバの電 源をリセットできない場合があります。
- パワー制御コマンドを管理対象電源タップまたは組み込みのサーバ管理カードに 発行するのに、約1秒かかります。

詳細については、「Access Client を使用したノードのパワー制御 『p. 44』」および「Admin Client を使用したノードのパワー制御 『p. 47』」を参照してください。

パワー ステータス メッセージ

パワー制御操作を開始すると、[パワー ステータスのメッセージ] ウィンドウが開きます。 このウィンドウは、すべてのパワー制御操作が完了するまで開いておく必要がありま す。

[Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウは、サイズの 変更、最小化、または最大化が可能です。また、ウィンドウ内のテキストを選択し、コ ピーして貼り付けることができます。

[Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウのメッセージ は、パワー制御操作のステータスに関する新しい情報を受け取ると更新されます。

新しいメッセージがこのウィンドウに表示されるのは、以下の場合です。

- パワー制御操作のリクエストが送信された場合。
- パワー制御操作が失敗した場合。
- パワー制御操作が正常に完了した場合。
- 要求されたすべてのパワー制御操作が正常に完了した場合。



- [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウを閉じ た場合にステータス更新情報を取得する方法
- パワー制御操作が失敗した場合は、失敗した操作に関する情報を示す警告メッセージが表示されます。
- 操作全体が正常に完了した場合は、ブラウザ ウィンドウの下部のステータス バーに警告メッセージが表示されます。
- 警告メッセージが表示されるのは、操作が失敗した場合のみです。操作が正常に完了した場合は、警告メッセージは表示されません。

Access Client を使用したノードのパワー制御

Access Client には、ノードおよびノード グループのパワー制御を行うための方法が いくつか用意されています。

シングル ノード パワー制御

シングル ノード パワー制御では、単一ノード内のすべてのインタフェースまたは選択 されたインタフェースのパワーを制御できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント 『p. 43の" 複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント"』」を参照してください。

▶ 単一ノードのすべてのインタフェースのパワー制御

- 左パネルのノード リストのいずれかで、パワーを制御するノードをクリックします。
 [ノードの詳細] 画面が表示されます。
- [パワー制御] セクションで、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をクリックして、そのノードに関連付けられたすべてのインタフェースへのパワー制御操作を実行します。
- パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。
- 4. CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「パワー ステータス メッセージ 『p. 43』」を参照してください。



▶ 単一ノードの複数のインタフェースのパワー制御

ノードが二重化電源を備えている場合は、電源ごとにパワー制御インタフェースが必要です。シングル ノード パワー制御では、1 つまたは複数のインタフェースに対して パワー制御操作を実行できます。

- 1. 複数のインタフェースの [シングル ノード パワー制御] へのアクセス方法は 2 通りあります。
 - a. 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[シングル ノード パワー 制御] をクリックして [シングル ノード パワー制御] 画面を開きます。
 - b. 左パネルのノード リストのいずれかで、パワー制御するノードをクリックし、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面にある [パワー制御] セクションの [詳細] をクリックします。
- [ノード] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからパワー制御するノードを選択します。[利用可能] リストに、選択されたノードのすべてのインタフェースが表示されます。
- [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。 この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで 繰り返します。
- [選択中] リスト内のインタフェースを、CC-SG でパワー制御操作を実行したい 順に並べ替えます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェース が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてインタフェースを移動 します。
- 5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックして、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をリストから選択します。
- 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにイン タフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
- 7. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。処理の開始を意味する確 認ウィンドウが開くので、[OK] をクリックします。
- 8. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「パワー ステータス メッセージ 『p. 43』」を参照してください。



ノード グループ パワー制御

ノード グループ パワー制御では、ノード グループ内のノードに関連付けられている、 すべてのインタフェースまたは選択したインタフェースのパワーを制御できます。電源オ ンおよび電源オフの操作では、電源をオンまたはオフするインタフェースの順序を選択 できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント 『p. 43の" 複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント"』」を参照してください。

- ノード グループ内のすべてのまたは選択されたインタフェースをパワー制御するに は
- 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[ノード グループ] をクリックし て [グループ パワー制御] 画面を開きます。
- [ノード グループ] ドロップダウン矢印をクリックし、パワー制御するノード グループ をリストから選択します。[パワー制御用のインタフェース] に、選択したノード グ ループのすべてのインタフェースが表示されます。
- 利用可能なインタフェースのリストをフィルタする場合は、[ノード]、[インタフェースのタイプ]、および [デバイス] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。 オプションを選択すると、[パワー制御用のインタフェース] の表が更新され、パワー操作の対象となるインタフェースのリストが表示されます。(任意)
- パワー操作の対象外とするパワー インタフェースの横のチェックボックスをオフにします。(任意)
- 5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックして、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をリストから選択します。
- 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにイン タフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
- 7. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。
- パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「パワー ステータス メッセージ 『p. 43』」を参照してください。



Admin Client を使用したノードのパワー制御

Admin Client には、ノードおよびノード グループのパワー制御を行うための方法が いくつか用意されています。

単一のインタフェースからのパワー制御

CC-SG Admin Client では、パワー制御は、特定のパワー制御インタフェース上で 右クリックし、メニューから目的のパワー操作を選択することで実行できます。

- 1. [ノード] タブで、パワー制御インタフェースを右クリックして、実行するパワー操作 をクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。
- 選択されたインタフェースは [選択中] リストに表示されます。右クリック メニュー で選択したパワー制御が、[操作] フィールドに表示されます。
- 3. [OK] をクリックして、パワー操作のリクエストをノードに送信します。画面に、確 認メッセージが表示されます。
- 4. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。
- 5. CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法につい ての詳細は、「パワー ステータス メッセージ 『p. 43』」を参照してください。

シングル ノード パワー制御

パワー インタフェースに関連付けられた単一ノードを、電源オン、電源オフ、電源のリ セット、および正常にシャットダウンすることができます。ノードに複数のパワー インタフ ェースがある場合は、パワー制御操作で使用するインタフェースを選択できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント 『p. 43の" 複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント"』」を参照してください。

- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 2. パワー制御を実行するノードを選択します。
- 3. [ノード] > [パワー制御] を選択します。[パワー制御] 画面が表示されます。
- 4. 選択されたノードの名前が [ノード] フィールドに表示されます。
- 5. ノードのパワー インタフェースが [選択中] リストに表示されます。



- [選択中] リスト内のインタフェースを、CC-SG でパワー制御操作を実行したい 順に並べ替えます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェース が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてインタフェースを移動 します。
- [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [電源オン]、[電源オフ]、[電源 のリセット]、[正常なシャットダウン]、または [中断] を選択します。
- [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ]、[正常なシャットダウン]、または [中断] を選択、および [選択中] リストで複数のインタフェースを選択した場合は、 [シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ~ 120の秒数で入力します。
- [OK] をクリックして、インタフェースにパワー操作のリクエストを送信します。確認 メッセージが表示されます。
- 10. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。
- 11. CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法につい ての詳細は、「*パワー ステータス メッセージ* 『p. 43』」を参照してください。

ノード グループ パワー制御

ノード グループ内のパワー インタフェースが関連付けられたすべてのノードを、電源オン、電源オフ、電源のリセット、正常にシャットダウンすることができます。

この操作は、ノード グループ内のすべてのノードの電源をオフにして、それらのノードが 設置されているラックを配線し直しできるようにする必要がある場合、またはノード グ ループに他のメンテナンスを実行する必要がある場合に便利です。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定についての 詳細は、『CC-SG ユーザ ガイド』の「*複数のインタフェースを備えたノードのパワー制 御に関するヒント* 『p. 43』」を参照してください。

- 1. [ノード] タブをクリックします。
- [ノード] > [グループ パワー制御] を選択します。 [グループ パワー制御] 画面 が表示されます。
- 3. [ノード グループ] ドロップダウン矢印をクリックし、パワー制御の対象のノード グ ループをリストから選択します。



- [利用可能] リストで、パワー制御を実行する対象の特定のインタフェースを選択し、[追加] をクリックして、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。 この手順を、必要なすべてのインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで 繰り返します。インタフェースを削除する必要がある場合は、[選択中] リスト内のインタフェースを選択して、[削除] をクリックします。
- 5. CC-SG でパワー制御操作を実行したい順序に、[選択中] リスト内のインタフ ェースを並べます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、上下の矢印ボタ ンをクリックして移動し、そのインタフェースが目的の順序になるようにします。
- [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [オン]、[オフ]、[サイクル]、[正常なシャットダウン]、または [Suspend] (中断)を選択します。
- [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ]、[正常なシャットダウン]、または [Suspend] (中断)を選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにイン タフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
- 8. [OK] をクリックして、選択したインタフェースを介してパワー制御操作のリクエスト を送信します。確認メッセージが表示されます。
- パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステ ータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい 情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。 進行状況を監視で きるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておい てください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「パワー ステータス メッセージ 『p. 43』」を参照してください。



ノード チャット

この章の内容

Access Client	を使用したノード	チャット	
Admin Client	を使用したノード	チャット	

Access Client を使用したノード チャット

6

同じノードに接続している他のユーザとチャットできます。参加者は誰でもチャット セッ ションを終了することができます。ただし、チャットを開始したユーザがセッションを終了 した場合、チャット セッション全体が終了し、すべてのチャット ウィンドウが閉じられま す。自分が開始していないチャット セッションを終了する場合は、後でまだそのチャッ トがアクティブであれば再び参加できます。

- 左パネルのノード リストのいずれかで、チャット相手のユーザが接続しているノー ドをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
- 2. [インタフェース] セクションの下の [チャットの開始] をクリックします。[チャット] ダ イアログが表示されます。
- 3. 一番下のボックスにメッセージを入力し、[送信] をクリックします。
- 4. チャット セッションを終了するには [終了] をクリックします。

Admin Client を使用したノード チャット

チャットにより、同じノードに接続されているユーザが互いに通信できます。ノードでチャット セッションを開始するには、そのノードに接続されている必要があります。同じノー ド上のユーザのみが、互いにチャットすることができます。

- ▶ チャット セッションに参加するには
- 1. [ノード] タブをクリックします。
- 現在接続しているノードを右クリックし、[チャット]をクリックします。セッションが作成されていない場合は、[チャット セッションの開始]をクリックします。チャット セッションが作成されます。

チャット セッションがすでに実行中の場合は、ノードを右クリックして [チャット] -[チャット セッションの表示] を選択し、チャット セッションに参加します。

チャット セッション ウィンドウが表示され、ウィンドウの左側にはメッセージ フィー ルドが、右側にはチャット セッションに参加中のユーザのリストが表示されます。



- 新しいメッセージのフィールド(左下)にメッセージを入力し、Enter キーを押す か、[送信]をクリックします。すべてのユーザに表示されるよう、メッセージがチャッ トフィールド(左上)に表示されます。
- 新しいメッセージ フィールドに入力したが、まだ送信していないメッセージをクリア するには、[クリア] をクリックします。チャット フィールドは [クリア] によってはクリア されません。
- 5. [閉じる] をクリックしてチャット セッションから出るか、チャット セッションを終了します。
- チャット セッションを閉じるかどうかの確認プロンプトが表示されます。[はい] をクリックして、全参加者のすべてのチャット セッションを閉じます。または、[いいえ] をクリックして、チャット セッションは終了するが、他のユーザ用にチャット セッションを実行したままにしておきます。

[ノード] タブから、全参加者のチャット セッションを閉じることもできます。チャット セッションを実行しているノードを右クリックし、[チャット] - [チャット セッションの終 了] を選択します。



プロファイル

この章の内容

Access Client	: のプロファイル	
Admin Client	のプロファイル	53

Access Client のプロファイル

7

[プロファイル] タブでは、パスワード、電子メール アドレス、デフォルトのノード リストを 変更できます。

パスワードの変更

アカウントがローカルで認証される場合は、自分でパスワードを変更できます。アカウントに対してリモート認証が使用されている場合は、管理者に連絡してパスワードを 変更してもらってください。

- パスワードを変更するには
- 1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。
- [パスワードの変更] チェックボックスをオンにして、パスワード フィールドを有効に します (ローカル認証の場合のみ)。
- 3. [旧パスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。
- (新しいパスワード) フィールドと [パスワード再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。
- 5. [OK] をクリックします。

注:[新しいパスワード]フィールドの上に[強力なパスワードが必要です]というテキ スト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にしています。 強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満たさなければなり ません。

[新しいパスワード] フィールドの隣に [強力なパスワードは必要ありません] というテキ スト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを無効にしています。 パスワードを 6~16 文字の間で設定してください。

電子メール アドレスの変更

[プロファイル] 画面の [電子メールアドレス] フィールドには、CC-SG ユーザ ID に 現在関連付けられている電子メール アドレスが表示されます。

1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。



- 2. [電子メール アドレス] フィールドに新しい電子メールアドレスを入力します。
- 3. [OK] をクリックします。

デフォルトのノード リストの設定

[プロファイル] の [デフォルトのノード リスト] フィールドでは、ログイン時に左パネルで 表示するノード リストを定義します。

- 1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。
- [デフォルトのノード リスト] ドロップダウン矢印をクリックして、[すべてのノード]、[お 気に入り]、[最近使用] のいずれかを選択します。
- 3. [OK] をクリックしてデフォルトのノード リストの選択を保存します。

Admin Client のプロファイル

[プロファイル] からは、CC-SG のパスワードと電子メール アドレスの変更、CC-SG の表示フォント サイズの調整、およびデフォルトの検索タイプ設定を設定できます。 パスワードの変更を強制されるまでのパスワードの使用期間も確認できます。

パスワードの変更

アカウントがローカルで認証される場合は、自分で CC-SG パスワードを変更できま す。アカウントに対してリモート認証が使用されている場合は、管理者に連絡してパ スワードを変更してもらってください。

CC-SG 管理者は、パスワードの定期的変更を強制するように CC-SG を設定できます。

パスワードを変更するには

- [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示 されます。
- 2. [パスワードの変更] チェックボックスをオンにして、パスワード フィールドを有効に します (ローカル認証の場合のみ)。
- 3. [旧パスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。
- (新しいパスワード) フィールドと [パスワード再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。



注:[新しいパスワード] フィールドの上に [強力なパスワードが必要です] という テキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にし ています。強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満た さなければなりません。[新しいパスワード] フィールドの隣に [強力なパスワード は必要ありません] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強 力なパスワードを無効にしています。パスワードを 6~16 文字の間で設定して ください。

5. [OK] をクリックして新しいパスワードを設定します。

電子メール アドレスの変更

- [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示 されます。
- 2. [電子メール アドレス] フィールドに新しい電子メールアドレスを入力します。
- 3. [OK] をクリックします。

CC-SG フォント サイズの変更

CC-SG の画面に表示されるすべてのテキストには、選択したフォント サイズが使用 されます。

- [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示 されます。
- [フォント サイズ] ドロップダウン矢印をクリックして、CC-SG の画面で表示する フォント サイズを選択します。
- 3. [OK] をクリックします。

検索設定の設定

CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という2種類の検索タイプがあります。検索設定は [プロファイル] で設定できます。

- [検索結果でフィルタ]:検索条件を入力して [検索] をクリックすると、その検索 条件に一致するノードが一覧示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。
- [一致する文字列の検索]:検索条件を入力すると、ノードリスト内の、その検 索条件に最も一致するノードがハイライトされます。[検索]ボタンはありません。
 この検索タイプではワイルドカード(*)は使用できません。

▶ 検索設定を設定するには

 [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示 されます。



- 2. [検索設定] パネルで、使用する検索タイプに対応するラジオ ボタンをクリックします。
- 3. [OK] をクリックします。





Admin Client では、次のショートカット キーを使用できます。

操作	ショートカット キー
更新	F5
パネルの印刷	Ctrl + P
ヘルプ	F1



Α

索引

[

[お気に入り] ノード リスト - 11,28
[すべてのノード] リスト - 10
[ノード プロファイル] 画面の概要
Access Client - 28
Admin Client - 30
[最近使用] ノード リスト - 12
[最近使用] ノード リストのクリア - 12

A

Access Client クライアントからログアウトす 3-8 Access Client でのカスタム表示の使用 - 9, 10,20 Access Client でのノードの検索と表示 - 9 Access Client のプロファイル - 52 Access Client を使用したノード チャット -28,50 Access Client を使用したノードのパワー制御 - 26, 28, 43, 44 Access Client を使用したノードへの接続 -26, 27 Admin Client でのカスタム表示の使用 - 9, 14, 22 Admin Client でのノードの検索と表示 - 9,12 Admin Client のプロファイル - 53 Admin Client を使用したノード チャット -50 Admin Client を使用したノードのパワー制御 - 26, 30, 43, 47 Admin Client を使用したノードへの接続 - 26, 30

С

CC-SG Access Client を介したブラウザ ベー スのアクセス - 3
CC-SG Access Client 画面の概要 - 9,20
CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベー スのアクセス - 5
CC-SG Admin Client 画面の概要 - 13
CC-SG フォント サイズの変更 - 54
CC-SG へのアクセス - 2

Ι

iLO プロセッサが有効なノードへの接続 - 26, 37

J

JRE 非互換性 - 6

V

 VI クライアント インタフェースを使用して 制御システム ノードまたは仮想ホスト ノ ードに接続する - 39
 VMW Viewer インタフェースを使用して仮想

マシン ノードに接続する - 40

W

Web ブラウザ インタフェースを介したノー ドへの接続 - 26, 39

あ

アウト オブ バンド KVM インタフェースを 使用したノードへの接続 - 26,34
アウト オブ バンド シリアル インタフェー スを使用したノードへの接続 - 26,36
アクセスの前に - 2
インタフェースについて - 26,32
インタフェースをブックマークに設定 - 18
インバンド KVM インタフェースを介したノ ードへの接続 - 26,38
お気に入りからノードを削除 - 11
お気に入りのノードを追加 - 11
お気に入りのノードのソート - 11

か

カスタム表示 - 10, 19, 29, 31 カスタム表示の削除 - 22 カスタム表示の種類 - 19 カスタム表示の追加 - 20 カスタム表示の適用 - 21 カスタム表示の変更 - 21 カスタム表示名の変更 - 21 カテゴリとは - 20



索引

カテゴリ別の表示 - 19

ð

サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインスト ール - 2 シック クライアント アクセス - 6 シック クライアントのインストール - 6 シック クライアントを使用した CC-SG への アクセス - 8 ショートカット キー - 56 シングル ノード パワー制御 - 44, 47

た

ツリー表示 - 14 デフォルトのカスタム表示の指定 - 22 デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザ に指定 - 22 デフォルトのノード リストの設定 - 53

な

ノード アイコン - 14 ノード グループ パワー制御 - 46,48 ノード グループでフィルタ-20 ノード グループとは - 20 ノード チャット - 50 ノード リスト - 10 ノードからの切断 - 41 ノードにアクセスするためのアプリケーショ ン - 26, 32 ノードのカスタム表示の削除 -24 ノードのカスタム表示の追加 - 22 ノードのカスタム表示の適用 -23 ノードのカスタム表示の変更 - 23 ノードのデフォルトのカスタム表示の指定 -25 ノードのデフォルトのカスタム表示をすべて のユーザに指定 - 25 ノードの検索 - 12, 15 ノードの検索で使用できるワイルドカード -18 ノードの検索と表示 -9 ノードへの接続-26 ノード表示 - 14 ノード並べ替えオプション - 15

は

はじめに - 1 パスワードの変更 - 52, 53 パワー ステータス メッセージ - 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49 パワー制御 - 42 パワー制御インタフェースとは - 42 プロファイル - 52 ポップアップ ブロックの無効化 - 3

漢字

検索設定の設定 - 15, 18, 54 初めてのシリアル インタフェースへのアクセ ス - 37 単一のインタフェースからのパワー制御 - 47 電子メール アドレスの変更 - 52, 54 同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットへ のアクセス - 5 必要条件 - 1 表示される可能性があるエラー メッセージ -4 複数のインタフェースを備えたノードのパワ ー制御に関するヒント - 43, 44, 46, 47, 48 名前またはステータスによるノードのソート - 11 用語/略語 - 1



Raritan.

▶ 米国/カナダ/ラテン アメリカ

月曜日~金曜日 午前 8 時~午後 8 時 (米国東海岸時間) 電話:800-724-8090 または 732-764-8886 CommandCenter NOC に関するお問い合わせ:6 を押してから 1 を押してください。 CommandCenter Secure Gateway に関するお問い合わせ:6 を押してから 2 を押 してください。 Fax:732-764-887 CommandCenter NOC に関する電子メール:tech-ccnoc@raritan.com その他のすべての製品に関する電子メール:tech@raritan.com

▶ 中国

北京

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-10-88091890

上海

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-21-5425-2499

広州

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+86-20-8755-5561

▶ インド

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+91-124-410-7881

▶ 日本

月曜日〜金曜日 午前 9 時 30 分〜午後 5 時 30 分 電話:+81-3-3523-5994 電子メール:support.japan@raritan.com

▶ ヨーロッパ

ヨーロッパ

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+31-10-2844040 電子メール:tech.europe@raritan.com

英国

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+44-20-7614-77-00 フランス 月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+33-1-47-56-20-39

ドイツ

月曜日~金曜日 午前 8 時 30 分~午後 5 時 (GMT+1 CET) 電話:+49-20-17-47-98-0

▶ 韓国

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+82-2-5578730

メルボルン (オーストラリア)

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (現地時間) 電話:+61-3-9866-6887

▶ 台湾

月曜日~金曜日 午前 9 時~午後 6 時 (標準時:GMT-5、夏時間:GMT-4) 電話:+886-2-8919-1333 電子メール:tech.rap@raritan.com